

発行:山本みわ後援会 つくば市松代2-21-10 TEL:029-854-7676

どうする？公共施設・道路などの老朽化 築30年以上の建物54%



つくば市議会議員の山本みわです。

日頃より温かいご支援、ご声援に心より感謝申し上げます。

大規模改修や建替えの必要性

つくば市には、建てられてから30年以上経つ公共施設が多く、今後たくさんの施設の改修や建て替えを行う時期がやってきます。建物では、学校や地域交流センター、老人福祉センターなどがあります。道路や公園・上下水道などもつくば市の公共施設です。

築30年以上の公共施設

54%

経費をどうするか

平成26年度の

公共施設の維持管理費は約53億円。

道路・上下水道などのインフラの維持管理に約27億円

かかっています。(建替え・新設などは含みません)

今あるすべての施設を、大規模改修や建替えしながら維持していくとすると、これからの40年間は1年あたり

平均213億円(40年間の総額8,525億円)

かかる計算となりました。(「つくば市公共施設白書」による)

建替えには、お金がかかります。

さらに、TX沿線開発地域への新たな施設整備も必要です。

このままだと…

今後、高齢化が進み、高齢福祉などにかかる費用が増え続けることを考えると、今以上の予算を公共施設にかけることは困難です。大幅な財政収入の増加も見込めません。

しかし、このまま先延ばしにすると、インフラの崩壊、財政破綻を招きかねません。

一般公共施設
(建築物)

495施設

道路実延長

3,360km

(県内一長い)



⇒⇒次ページにつづく

「つくば市公共施設白書」完成 安全・安心で持続的なサービスを！

公共施設の老朽化対策に危機感を持ち、平成22年から山本みわは、一般質問等で公共施設白書の作成や公共施設マネジメントの必要性を訴え続けてきました。

そして今年6月に「つくば市公共施設白書」が完成しました。これで行くつくば市の公共施設の実情が明らかになりました。

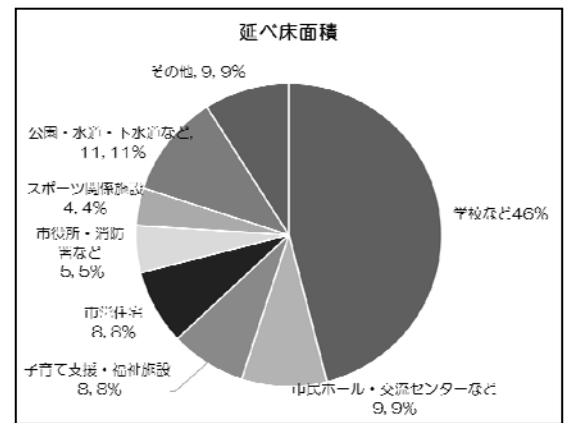
平成22年9月議会、平成23年9月議会、平成25年9月議会、平成26年9月議会、平成27年9月議会



現在、この白書を基に、今後の公共施設の維持管理・適正配置などのマネジメント計画策定に着手しています。

静岡県牧之原市では「市民の対話と協働による公共施設マネジメント」を実施しています。つくば市でも、市民のみならず対話しながら計画をつくる自治体になるよう、仕組みづくりをしていきたいと考えています。

山本みわはこれからも、未来に負担を残さないよう、今できることを着実に推進してまいります。



つくばの図書館もっとよくしたい

これだけ広いつくば市内で、図書館がひとつだけ？！

図書館は赤ちゃんから高齢者まで、全ての市民の教育環境です。

特に最近は、

- ・調べ物や勉強をする中高生
- ・郷土史や自分史などに興味を持つ定年退職層など、

滞在型利用者が増えています。

図書館を、もっと地域作りの中心施設にしていくべきではないでしょうか？

山本みわの問題提起により、筑波・谷田部・小野川・荃崎交流センター内の図書室が、平成27年度より中央図書館による業務運営へと変更になりました。資料の充実・サービスの向上につながっています。

「いつでも、どこでも、だれにでも」をモットーに図書館拡充、学校図書館・大学・研究機関との連携を進めていきます。



平成 27 年度決算委員会

山本みわの質問より



ノバホール小ホールの改修と バリアフリー化を提言

ノバホール利用率（平成 27 年度）

大ホール 83% 88,733 人

小ホール 59% 13,625 人

小ホールの構造（特に防音）に問題があるため、利用率が悪いのではないかと指摘しました。

現イノベーションセンターのエレベーター利用にも支障をきたしていることや、ノバホールのバリアフリー化を進めることを提案

⇒検討課題であると答弁



つくば市の政務活動費って どうなってる？

つくば市では、政務活動費として、議員 1 人あたり（会派ごとに交付）

月額 3 万円・年間 36 万円

が交付されています。

1 円から明細の入った領収書を添付するよう会計報告が義務付けられています。

また視察や、研究研修については、すべて報告書を添付しております。

山本みわは、使用しなかった分は、毎年きちんと返金しています。



女性のための相談室 男性のための電話相談

相談件数 517 件（平成 27 年度）

電話相談・一般相談（面談）・心と生き方相談・法律相談ともに、いつも予約いっぱいですが、人員も含めた体制の見直しが必要ではないかと提案しました。

女性のための相談員 6 名

カウンセラー 2 名

女性弁護士 委託

⇒相談員、カウンセラー共に増員している。対応できるよう検討。

スポーツ施設の今後のあり方 ～公明党の考え～

1. 市民ニーズ調査（全戸）の実施
2. 「スポーツ推進計画」の見直しは地区別懇談会を開催し情報共有・合意形成を図る
3. 公共施設マネジメントを踏まえて検討（将来への負担軽減）
4. 行政からの一方的政策提案ではなく市民との協働型政策の実施
5. 政策主張するだけでなく、政策議論のできる議会運営を求める

議会として、公式記録のとれる陸上競技場の整備を早急に検討していくことを合意。

「総合運動公園調査特別委員会報告書」参照

（つくば市議会 HP に掲載）



日々の活動を配信中～



山本みわホームページ



公式Facebookページ



公式LINEページ

山本みわの実績

子育て

- ◆臨時職員保育士の賃金水準の見直し実現！
- ◆特別支援員の増員
- ◆ペアレントトレーニングの導入
- ◆子育て総合支援センターに発達相談窓口の設置
- ◆放課後子ども教室の推進・実施
- ◆保育所・児童館の耐震診断と耐震改修を提案・実施
- ◆子育てすくすくメール配信事業実施
- ◆小中学校各教室への冷房整備 1番最初に要望・交渉！

地域

- ◆市報のポスティングによる全戸配付
- ◆犬のふんイエローカード
- ◆交流センター図書室の中央図書館分館化
- ◆中心市街地の防犯灯等の計画的な整備管理について、調査マップを作成
- ◆メモリアルホールにコインロッカー設置
- ◆公務員宿舍の廃止に関して国との協議会を設置
- ◆研究学園地域に郵便局誘致実現！

防災

- ◆地域との連携による学校の防災力強化推進 事業の実施
- ◆災害時の情報伝達手段の整備（ラチオ協定）
- ◆防災無線の一部導入 震災時より一貫して主張してきました！
- ◆防災計画に女性の目線を導入

市政

- ◆財政の見える化→つくばの台所事情発行
- ◆公共施設マネジメント導入推進

健康・高齢者

- ◆女性特有のがん検診・がん対策の推進
- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を実現
- ◆妊婦健診公費助成拡充
- ◆子どもの医療費助成、中学3年まで拡充
- ◆救急医療情報キット導入
- ◆こころの体温計（うつ早期発見）導入推進



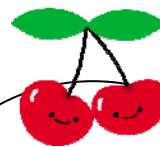
山本みわプロフィール

1969年12月 東京都練馬区生まれ
 都立大泉高等学校、創価大学教育学部児童教育学科卒業
 1992年 4月 学校法人創価大学事務局にて庶務課・広報課・企画課に従事
 1999年 4月 結婚を機につくば市に居住
 2008年10月 つくば市議選で初当選
 2012年10月 再選を果たし、現在2期目。

- ・文教福祉常任委員会 委員長（2013、2014年）
- ・総合運動公園に関する調査特別委員会副委員長
- ・安心安全調査特別委員会 ・議会活性化推進特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会副会長 ・男女共同参画審議会委員
- ・子ども子育て会議委員 ・バースセンター評価委員、
- ・予防接種健康被害調査委員会委員

公明党つくば支部副支部長
 松代小学校父母と教師の会元会長、手代木中学校 PTA 元会長
 防災士、つくば環境マイスター3級、
 「いばらき防災士ネットワーク」「認知症の人と家族の会」
 「若年者社会参加支援普及協会アストリンク」（ひきこもり支援）

【生活信条】 「笑顔と感謝」 【趣味】 森林浴・文具本屋めぐり
 【家族】 夫・一男（中3）・一女（小6）・実母の5人家族



さくらんぼ通信の

“さくらんぼ”は
 『あなたとわたし』
 そして
 『2人の子ども』
 と常に一緒に
 そう思う思いを込めています